

6/20 三戸大神宮社殿にステンドグラスを設置

大正ロマンの雰囲気を感じてほしい

三戸大神宮は、青森市に工房を構えるステンドグラス作家の高橋優子さんが制作したステンドグラス（作品名「神樂」）の清祓式を行いました。このステンドグラスは、日本の和の文化、伝統的模様や木工の組子細工などを取り入れ、制作されたものです。高橋さんは「人によって、色や模様などの感じ方が変わる作品だと思います。想像を巡らせながら、大正ロマンの雰囲気を感じてほしい」と話しました。禰宜の山崎貴行さんは「光の当たり具合で見え方が変わる、すばらしい作品。三戸町の新たな観光名所として広まってくれたらうれしい」と願いを込めました。



ステンドグラスの紹介をする
高橋さん



(左から) 松尾町長、藤元さん、
田畑さん

6/24 藤元良子さんがパークゴルフ全国大会で優勝

上達したい気持ちを忘れない

6月11日、12日に岩手県洋野町大野パークゴルフ場で行われた「第20回記念パークゴルフ全国大会りんどうカップ2022」の個人戦で優勝した三戸パークゴルフ協会（田畑勝会長代行）の藤元良子さんが役場を訪れ、松尾和彦町長に報告しました。藤元さんは「初めて出場した大会で最下位になってしまい、上達したいという意欲が芽生えました。この気持ちを忘れずに今まで続けてきたことが、今回の優勝につながったのだと思います」と話しました。松尾町長は「町にとっても大変名誉なこと。これからも期待しています」と藤元さんの優勝を喜びました。

6/29 「農福連携」で施設利用者がジュノハート選別

農業の担い手確保に向けて

農作業の担い手を確保する「農福連携」の取り組みとして、町内の障害者就労支援施設「あるふぁNEXT」でサクランボ「ジュノハート」のサイズ分け作業が行われました。この取り組みは、町内農家の山田仁志さんが依頼。山田さんは「一部の作業でも、引き受けてくれると大変助かる。今後、他の作業も任せられたらうれしい」と話しました。実際に作業した利用者は「高価なサクランボなので慎重に取り扱いました。貴重な経験ができました」と感想を話しました。



ジュノハートの選別作業をする皆さん



ジュノハート、おいしそう！

6/29 「ジュノハート」町内の小学1年生に提供

大粒のジュノハートに興味津々

町は、地産地消の推進と子どもたちの農業への関心を深めることを目的として、町内で生産されたサクランボ「ジュノハート」を町内の小学1年生児童にプレゼントしました。小中一貫三戸学園三戸小学校で「お渡し会」が行われ、慶長隆光教育長と三戸さくらんぼ研究会の藤原剛会長が子どもたちに手渡しました。ジュノハートを受け取った子どもたちは「おうちのひとと一緒に食べます」と感謝の言葉を述べました。

6/25 三戸土曜塾開塾式

夢に向かって勉強に励みたい

学力向上を目指す児童・生徒に元教員などのボランティアが学習指導を行う三戸土曜塾の開塾式が中央公民館で行われ、活動11年目となる今年度は、9年生20人が入塾しました。

三戸土曜塾の会の大庭礼子会長は「勉強だけでなく、郷土への理解や愛情も教えていきたいと思っています」とあいさつをしました。

塾生リーダーの上田和奈さんは「リーダーとしての自覚を持ち、塾生のみんなが積極的に勉強を頑張れる環境をつくっていききたいです」と話しました。 ※三戸土曜塾では、運営に携わるボランティアを募集しています。お問い合わせは、三戸土曜塾の会事務局（☎23-5886）まで。



苦手教科、克服するぞ！



植樹をする中野さん親子

6/26 さんのへ農業小学校で「植林体験」

森林の大切さを学ぶ

さんのへ農業小学校の課外授業として「植林体験」が行われました。参加した18人の子どもたちは、林業の仕事内容や木の大切さを学んだ後、スギの苗木150本を植樹しました。参加した中野由菜さん（三戸小3年）は「苗木を植えたのは初めてで、土を踏んだり木を植えたりするのが楽しかったです。きれいな空気を作るために木が大切だということも知り、勉強になりました」と感想を述べました。

7/4 社会を明るくする運動

安全で安心なまちづくりに尽力

第72回社会を明るくする運動のメッセージ伝達式が行われました。この運動は、犯罪や非行防止と、罪を犯した人の更正について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

三戸町では、八戸地区保護司会三戸分会の越後秀副会長が、内閣総理大臣と青森県知事のメッセージを代読し、松尾和彦町長に手渡しました。松尾町長は「安全・安心な町をつくるために活動してほしい。町も手助けしたいと思います」と話しました。



県知事からのメッセージを手渡す越後さん（右）



（左から）井上代表取締役、慶長教育長

7/7 (有)井上測企が学校にノートを寄贈

測量業の楽しさを広めたい

(有)井上測企（井上浩代表取締役）は、6月3日の「測量の日」にちなんで、日本測量協会が作成した表紙の裏に地図記号の一覧が載ったノートを、町内の小学校1～2年生97人に寄贈しました。井上代表取締役は「ノートに載っている地図や記号を通して、測量の楽しさを伝えられたらうれしい」と願いを込め、慶長隆光教育長にノートを手渡しました。慶長教育長は「子どもたちが、地域を守る測量業に興味を持ってくれたらうれしい」と話しました。